

創明会

山梨県議会会派

そうめいかい

県議会レポート Vol.1

2013年新年号【発行元】創明会



山梨県議会議事堂前

創明会発足

後列左から森屋 宏、保延 実、皆川 巖、渡辺 英機、前島 茂松、清水 武則、山下 政樹
前列左から永井 学、早川 浩、斎藤 公夫、丹澤 和平、鈴木 幹夫、仁ノ平 尚子、大柴 邦彦

私たち山梨県議会議員十四名は、昨秋、新会派「創明会」を結成し、新たな議会活動を推進していくことになりました。

会派結成の目標は、地方分権時代の議会にふさわしい、公正で公平な山梨県議会を築いていくことにあります。自治体の運営は、首長と議会による「二元代表制」が基本とされています。新たにスタートした「創明会」はこの原則に立ち、県政の個々の課題を改善し、県民の暮らしをより豊かなものにしていくことが最大の目標であります。

そのためには、知事をはじめとする県政の執行部が立案する個々の政策に対しては「是々非々」の立場で臨むとともに、県民の皆様との対話を通して、積極的な「政策提言」に務めることを目指しております。

今、国内の状況を眺めるとき、政治、経済、その他多くの分野で、閉塞感が漂っているというのが現実です。本県においても、その余波は避けられない状況にあります。このような環境のなかにあって、本県には中部横断自動車道、リニア新幹線など未来へ向けての大きな事業が進行中です。それらの新事業をいかにして、山梨の未来につなげていくのかは、議会人としても大きな課題であります。

私たちの新会派は「明るい山梨の明日を創りたい」という思いを込めて命名いたしました。新しい年に向け、十四名の同志の心を一つにして、県政の発展と推進の機動力となるよう、努力して参る決意であります。

県民の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

創明会代表 皆川 巖

この「創明会」に関するお問い合わせは

【発行元】山梨県議会 創明会

甲府市丸の内一丁目6-1

電話 055-223-1807



㈱アパグループ



福井県社会福祉協議会



㈱廣貫堂本社



廣貫堂資料館



富山県教育委員会



写真で活動報告

創明会では、8月21日～23日に福井県、富山県の政務調査を行いました。1日目は、福井県の、㈱アパグループ、福井県社会福祉協議会を訪問し、地方企業による全国展開の事業戦略や、少子化対策についての取り組み内容等について調査してきました。2日目は、富山県の富山県教育委員会、廣貫堂資料館、㈱廣貫堂本社を訪問し、「とやま型学力向上プログラム」や中高一貫教育の取り組み、地場産業の振興、地方和漢製薬メーカーの事業展開について研修し、3日目は、富山市議会事務局、富山ライトレール㈱本社、㈱ナガエを訪問して、コンパクトな街づくり、ライトレール事業、地場企業の美術工芸・アート事業への発展的展開について調査・研修してきました。



富山市議会事務局



ライトレール富山



ライトレール富山㈱本社



総務委員会での活動



教育厚生委員会での活動



農政産業観光委員会での活動



土木森林環境委員会での活動



会派での活動





甲府市
皆川 巖
みながわ いわお

滞在型観光の確立に向けて 甲府城の天守閣復元を目指す

私は本県の重要政策の一つである「観光立県やまなし」の確立は、まず、現状の「通過型観光」から「宿泊滞在型」への切り替えが必要だと考えています。そのためには、観光客が「時間を長く費やす魅力ある観光拠点」をいくつか整備しそれを結ぶ「観光ルート」を創るべきだと考えます。

甲府地域に関して言えば、甲府城は天守閣まで復元整備し、大型観光バス駐車場など周辺整備を推進し、甲府駅北口の「甲州ゆめ小路」とセットで整備することが、「宿泊型観光」実現の切り札になると確信しています。

「議員になるのが目的ではなく、議員となつて目的を実現したい」というのが私の思いです。この信条を実現すべく、今後も研鑽を積み重ねて参ります。



南都留郡
渡辺 英機
わたなべ ひでき

新生会派の一員として 県民生活の向上に努力

「人間には生まれた時から、一つのなすべき使命がある。それは未来を創ることである」。これは、タイの著名な作家ワターカーンの箴言です。

「未来を創る」とは、まさしく、県民主役の明るく希望に満ちた山梨を創ることであり、新たにスタートした「創明会」はこうした目的を同じくする十四名の同志が集い、結成されました。

私もその一員として、郷土山梨の主役である県民の皆様のために減私奉公することこそ、県議会議員としての使命であると、心新たに決意したところです。

これからも、誰もが安心して暮らせる地域社会の建設に全力で取り組んで参ります



笛吹市
山下 政樹
やました まさき

「道に迷ったら遠くを見よ」 県民と一緒に考えていきたい

「道に迷ったら遠くを見よ」という言葉があります。

私が思うには、「目指す地を見誤らなければ、おのずから、どの道を歩めば良いかわかる」という意味ではないかと理解しています。人々が集まって暮らすことによって、生活、文化、経済が生まれ、そしてその地域を愛して住み続ける人々によって、素晴らしい「街」が生まれるのではないかと考えています。

地域を愛し、「この街に住んで良かった」と多くの住民に感じていただくためには、何が必要なのか、そのための目標を掲げ、住民の皆さんと知恵を出し合いながら、遠くにある「理想の地域づくり」の道を県民の皆さんと進んでいきたいと考えています。



南アルプス市
齋藤 公夫
さいとう きみお

企業再生「元気な山梨」 同志と共に、議会活動展開

現在、山梨は企業の流出が目立ち、人口は減少し元気をなくしつつあります。これからは、産業構造を再点検するとともに、新産業の創出を図り「元気な山梨」を取り戻さなければなりません。

今年は、富士山世界文化遺産の認定を控えております。それに加え、南アルプス自然遺産の認定を進め、国内外からの観光客を受け入れ交流人口の増加を図る努力が必要です。産業に関しても、機械電子工業一辺倒の「富士山型」から、新成長産業の創出による「八ヶ岳型」の多様な産業形態を目指す必要を感じております。また、リニア新幹線の開通に合わせて、都市にある本社企業のバックアップ都市を目指す取り組みも必要です。



笛吹市
前島 茂松
まえじま しげまつ

かつてない多事多難の今 同志と共に諸課題に対応

長い間、県議会に議席をいただき、県政の変遷と激動の時代に関わってまいりました。そして今ほど、不透明で閉塞感の漂う時代はなかったように感じています。国、地方ともに巨大な債務。地方分権化が進む中で多岐にわたる県民生活を支えなければなりません。正に多事多難の県政というのが実態です。

深刻な少子高齢社会の進行、産業基盤の揺らぎ等、次世代を担う本県の若者達がふるさとで希望を抱いて日々暮らしていくことができるか心配です。県議会に寄せる県民の視線は厳しいものがあります。これら諸課題をしっかりと受け止め、創明会の同志と活力ある議会活動に努め県民の負託に応えていく所存です。



甲斐市
保延 実
ほのべ みのる

地に足をつけた活動で 県民の幸せ願う県政に

一昨年四月、再選を頂き、はや一年と九ヵ月が過ぎます。地域の代表として県政に送って頂き今期、三期目となりました。

その間、皆様のご要望を頂きながら実現したもの、現在進行中のもの、実現できなかったものといろいろあります。私自身、微力ではありますが誠心誠意取り組んでまいりました。

今、日本は重大な局面に位置しています。国内外の諸問題、いわゆる福祉、少子高齢化社会、経済の停滞、領土など様々な課題が噴出しています。加えて、国政では、決められない政治、与野党の足の引っ張り合いと迷走が続く不安定な状況であります。そうした中、我々地方議員はしっかりと地に足をつけ、県民の福祉向上と幸せの為にしっかりと政治に取り組んでいく覚悟です。



甲州市
鈴木 幹夫
すずき みきお

不透明な時代の今 課題一つひとつと対決

私は、市民、県民の皆様を支えられ県議会議員として既に3期目となりました。これまで信念と行動力のもと、日々無我夢中で議会活動を進めてきました。

しかし今、厳しく、不透明な時代に直面し、議員としての私の前には多くの課題が山積しております。県内の情勢をざっと見渡しただけでも、地域の少子高齢化と医療対策、経済の停滞、さらには、完成が見込まれる中部自動車横断道、リニア新幹線の未来に向けての活用方法など課題は多彩です。その一つひとつの課題に取り組み解決して行く事、又、私の信条であります「思いやり、人に、政治に、この街に」を忘れることなく、県民の皆様と共に歩んで行きたいと考えています。



北杜市
大柴 邦彦
おおしば くにひこ

県民の安全安心の確保 諸々の課題の克服願う

県政に携わり、はや2年を終えようとしております。この間、皆様から貴重なご意見、ご提言を頂き、感謝申し上げます。それを県政に反映し、県民の暮らしや教育、福祉等々の向上に誠心誠意、責務を果たして参ります。

県民の安心・安全を守る県政の推進が、今ほど求められている時はありません。東日本大震災での種々の教訓を生かし、予想される災害への速やかな対応、そして時を失することのない事前措置の施策整備は欠かせません。

県政を通して山積する諸課題とともに、その遂行に努める議会人として、これからも重責を果たして参る覚悟です。



韭崎市
清水 武則
しみず たけのり

県政の議論の場を通し 郷土山梨の発展策探る

「一燈照隅萬燈照国」(最澄)

これは「最初は一隅を照らす小さな灯火も、その灯火が十、百、千、万となれば、国中をも明るく照らすことになる」という格言です。安易な人気取りに陥ることなく、自らの信念に基づき照らすべき一隅を照らし続ける。そういう信念が政治には不可欠であります。

今、私たちの暮らす社会には、不安や閉塞感が充満しています。この状況を打ち破り、未来を切り開いていくことが私たちの使命であり、それを形にすることが政治に強く求められています。皆さんの声を県政に届け、誇りと自信を持てる「ふるさと山梨づくり」に取り組めます。



甲府市
仁ノ平 尚子
にのひら ひさこ

新会派で新しい歩みを 活発な議論で議会刷新

新しい会派で、新しい歩みを進めることになりました。

新会派には多様な議員が集まったと感じています。年齢、経験、地域、その得意とするところなど、バランス良く、個性豊かです。その個性が伸び伸びと力を発揮する時、議会が変わっていくと信じます。

私が願うのは、活発な議論や提案のある魅力ある議会、公正な議会運営、あるべき会派活動構築。そして、それらの前提としての学ぶ議員であること。そうした活動を、この会派を足場として、引き続き追求していきたいと思っています。皆様のお力をお寄せください。



西八代郡
丹澤 和平
たんざわ かずひら

確かな目で検証 「県政を四幕劇で語らせない」

「日本の政治と経済の問題は、すべて四幕劇で語れる」という説があります。

第一幕、「まったく問題がない」といい張る。第二幕、問題の一部だけを認める。第三幕、部分的な対策をとる。第四幕、問題の深刻さを認め白旗を掲げ降参する。

確かに、県の中小企業高度化資金の100億円余の損失。土地開発公社などの県出資法人の463億円余の不良債権問題などの経過を検証すると、すべて四幕劇で語れます。

四幕劇を防ぐには、演じている者が、今、何幕目にいてどう演じようとしているのかを考えることが大事です。しかし、もっと大事なことは、議員一人ひとりの確かな目と勇気ある行動です。



富士吉田市
早川 浩
はやかわ ひろし

「富士の山登りてみれば・・・ 良きも悪しきも・・・」

私は昨年の夏、県内の若手議員の仲間達と富士登山に挑戦しました。そして「富士の山、登りてみれば何ものなし、良きも悪しきも、我が心なり」と歌い伝えられている一首が心に浮かびました。

山梨県を良くしていくのも、悪くするのも、議会人としての「我が心」の持ちようではないかという自戒の思いです。

そして、常に二元代表制の原点に立ち返り、「県民の代表」として県民と向かい合い、併せて「地域の代表」として、民意を喚起し、「地域の先駆け」となるよう、新生「創明会」の一員として、今後も日々研鑽を積んでいかなければとの思いを新たにしております。



都留市・西桂町
森屋 宏
もりや ひろし

「議決機関」から「議事機関」へ 活発な議論こそ、議会の命！

議論をしない「議会」。これが今までの地方議会の姿です。しかし、時代は変わりました。議会での議論を通じて問題の明確化を図り、また、県民の皆様が多様な意見を取り入れていく、これが新しい地方分権の時代に活躍する議会の姿です。

我が会派、創明会には明日の山梨を担っていく優秀な議員が勢揃いしています。首長を経験した議員からベテラン議員、そして新人議員と。それぞれの経験を活かした活発な議論が会派内で展開されています。十年後の山梨の姿は、今の議論の中から生まれていきます。他に負けることのない地域創りの為に努力して参ります。ご期待下さい。

新会派 「創明会」結成。

私たちの新会派は
「明るい山梨の明日を創りたい」という
思いを込めて命名いたしました。
十四名の同志の心をつづいて、
県政の発展と推進の機動力となるよう、
努力していく決意であります。



甲府市
永井 学
ながい まなぶ

最年少新人議員として 「人づくり」を目標に挑戦

新人県議として一年九ヵ月。この間、最年少、唯一人の30代 議員だからこそ可能なことは何かと、常に考えてきました。

そして、なかなか届きづらい同世代の意見を県政に届けることはもちろんですが、若い世代の代表だからこそ、時間がかかる政策を軸におくことが必要だと感じています。

それは、「人を育てていくこと」。そしてその環境を作っていくことだと考えました。簡単には政策効果が出にくいこのテーマ「未来を拓く人づくり」ですが、今後の活動の中心に据えて、少しずつ、しかし着実に前進させていきたいと考えています。